

平成30年度専門性向上研修 音楽Ⅰ 生徒が主体的に学ぶ音楽科の授業づくり 報告

平成30年8月20日（月）・21日（火）9:30～16:30 東京都教職員研修センター

講師：和田 崇 先生（東京音楽大学准教授）

清水 宏美 先生（玉川大学教授）

8月20日（月）、21日（火）の2日間、東京都教職員研修センターにて「平成30年度専門性向上研修 音楽Ⅰ 生徒が主体的に学ぶ音楽科の授業づくり」の講座が開かれました。研修室いっぱいの50名程の先生方が参加し、午前・午後、充実した学びの時間を過ごしました。この講座は、昨年度都中音研の研修「基礎講座」として、大好評をいただいたもので、今年度より連携研修としてより参加しやすい夏季休業中に実施することになりました。今さら聞けない、しかしとても基本的で大切な、指導をする上での考え方やテクニックを、和田先生、清水先生が後輩である東京都の教員に惜しみなく伝えてくださいます。「授業づくりと年間指導計画の立て方」「学習指導案とワークシートの作り方」「定期考査の作り方と評価評定について」「これからの音楽教育のポイント～『主体的・対話的で深い学び』を可能にする授業方法～」と、テーマも多岐にわたり、それぞれが興味深い内容となっていました。前半は和田先生による講義形式で、知っておくべき基本的なことや、考え方を、中学校教諭在職時の経験も踏まえながらざっくばらんに楽しくわかりやすく解説していただきました。そして後半は、同じテーマの実践編で、清水先生と参加者皆で考えたり、ペアワークやグループセッションを行ったり、清水先生の授業を受けているような気分で研修を受けることができました。それぞれのお話の中に、ちょっとした授業で使えるテクニックや常時活動の紹介などもあり、どの瞬間を切り取ってもためになる、密度の濃い時間となりました。

授業と同じで、研修も他と関連付けて学んでいくことでより理解が深まり、実践への力とつながっていきます。来る平成31年2月5日（火）府中の森芸術劇場で行われる「平成30年度東京都中学校音楽教育研究会研究発表会」で公開授業を見て、協議会に参加し、臼井調査官の講義を聴くことでより今回の学びが深まっていくことと思います。ぜひ、こちらの研究発表会も楽しみにしていただければと思います。

2日間に渡り、熱心に研修をする先生方の姿に、これからの東京都の音楽教育の発展が期待されました。和田崇先生、清水宏美先生も時間のない中、厳選した内容で大変充実した内容のご指導をありがとうございました。

■参加者アンケートより

- ・指導計画の重要性を学びました。音楽の授業ともっと向き合わなければいけないと自覚し直すことができました。
- ・ごく基本的な事柄から大変丁寧に教えていただき、今後の自分自身の計画の作成へ向けて、改めてポイントを絞ることができたように思います。
- ・授業を行っていく上で重要なことを具体的に考えることができた。また、自分で授業力を向上させるために振り返るポイントを知ることができた。

- ・ 現行と次回の学習指導要領の両者を深く理解し、移行していくことが重要であると感じた。
- ・ 初歩・基本を学び直せるのは、とてもありがたいです。
- ・ できていないこと、やるべきことが山のようにあることを改めて感じました。だからこそ「学び続ける仕事」ということで、前向きに取り組んでいきたいです。
- ・ 学習指導要領がすべての基礎となっていることの再確認ができました。
- ・ 自分の改善点と向き合い、「より良い授業をしたい」ととても前向きな気持ちになりました。2学期がとても楽しみになりました！！

